

柏市民活動ニュースレター

2023年12月発行 第31号

カシワまるごと。。秋のイベント花盛り。。

暑〜く長〜い夏が終わり、爽やかな秋風を感じながら、毎年恒例の秋のイベントが市内各地域で開催され、市民活動団体の皆さんも、イベントの運営側や参加者側の立場で多数参加していました。

街なかでは、柏の秋の風物詩「柏市民活動フリーマーケットぼかぼか市」や「アートラインかしわ」が開催され、多くの市民で賑わいました。⇒2~3ページ参照

また、手賀沼エコマラソン、柏の葉エリアでの各種イベントなど、各地域の特徴を活かした多彩なイベントも復活し、コロナ禍以前の賑わいがやっと戻って来ました。



フリーマーケットぼかぼか市



アートラインかしわ



手賀沼エコマラソン



柏の葉アクアテラス周辺のイベント

<目次>

カシワまるごと。。秋のイベント花盛り（ぼかぼか市、アートラインかしわ）	・・・1~3ページ
協働まちづくりサロン「市民目線のこども・若者の居場所づくり」	・・・4ページ
地域づくりインターンシップ	・・・5ページ
たまご補助金団体の活動紹介	・・・6ページ
愛らぶ基金団体の活動紹介	・・・7ページ
サポートコーナーからのお知らせ	・・・8ページ

ぽかぽか
市

秋の風物詩・・
柏市民活動フリーマーケット ぽかぽか市

11月23日（木）勤労感謝の日、柏駅前通りハウディモールを会場に、30の市民公益活動団体が参加して柏市民活動フリーマーケット「ぽかぽか市」が開催され、多くの市民の皆さんが来場して一日中賑わいました。出店した団体の皆さん、ナンボ モ〜カリマッカ〜？



日時 令和5年11月23日（木）
10時30分～15時 / 雨天中止

会場 柏駅前通りハウディモール歩行者天国

主催 柏市民活動フリーマーケット実行委員会・柏市
問合せ パレット柏 市民活動サポートコーナー (TEL 04-7169-1143 9:30～17:00)

出店団体
 たくさんりの会連勝組連合会
 藤原と多志会
 ブルー
 緑地協会の会
 びんごう会
 ママコ（ママ・SMILE）
 認定NPO法人いもむし
 松戸支の会・松戸支部
 NPO法人柏城市民交流基金アースアップ
 リンダレーキの同志をもつ贈り
 NPO法人アークネットワーク
 NPO法人助かやじダンサーズ

実行委員会
 実行委員長 藤原と多志会
 副委員長 ブルー
 幹事 松戸支の会・松戸支部
 事務局 藤原と多志会
 広報担当 松戸支の会・松戸支部
 会計担当 松戸支の会・松戸支部
 庶務担当 松戸支の会・松戸支部
 会場管理担当 松戸支の会・松戸支部



芸術の秋を彩る・・・ アートラインかしわ 2023

アートの街・柏の秋を彩る「アートラインかしわ」が、今年も10月7日から11月12日まで、柏駅周辺を中心とした市内各所で開催されました。

コロナ禍で中止されていた屋外イベントの「ライブペインティング 30vs30」も久振りに開催され、今年のテーマ「動き出す街、見上げる空」が見事に体現されました。



ライブペインティング
30vs30



アートラインかしわ
2023 ツアー



共昌点 forM



連携事業「ダイナソー・タウン」

また、市民団体もアートラインかしわとの連携事業として、多彩な事業を企画・実施しており、アートの街・柏の面目躍如といったところです。

■市民公益活動団体が企画・実施した連携事業

「柏のクラフトマンシップを体感するアトリエ・工房を巡る小さな旅」



アトリエ鍛



ありすの食卓



画廊ルミエール



刺繍 縫

第3回協働まちづくりサロン (11/30) 市民目線のこども・若者の居場所づくり



11月30日(木)、こども・若者の居場所づくりをテーマとした、協働まちづくりサロンが行われました。

事例紹介から、身近な地域に多様な居場所がたくさんあることの必要性が確認できました。「柏市の考え方を知りたい」、「大人だけでなく、こどもが主体的に活動できる場づくりも必要」等、様々な意見も出る中、継続して議論できる場を希望する声もありました。

市や国においてもこども・若者施策の動きがある中で、当事者を含めた市民も積極的に地域の状況を知り、課題を共有し、解決するための協働を考える会となりました。

●NPO 法人フリースクールゆうび小さな学園 植田 誠 氏

フリースクールにはいろいろな形がありますが、ゆうび小さな学園は居場所型。こどもたちが安心して安全にいられる場を提供しています。在園するかたは、不登校の子が多いです。そして、障がいのあるかたなど小学生から40代ぐらいの幅広いかたが自分のペースで緩やかにすごしています。



コロナ以降、学園への相談、見学・入園希望がとも増えています。不安を抱えたこどもや保護者にとって拠り所となる多様な居場所があちこちにあるとよいと感じます。

■日 時 2023年11月30日(木)
午前9時30分~11時30分

■場 所 パレット柏 多目的室A

■事例紹介 柏市社会福祉協議会
高橋 史成 氏
NPO 法人フリースクール
ゆうび小さな学園
植田 誠 氏

■内 容 地域で取り組むこども・若者の居場所づくりの事例や課題についての意見交換

●柏市社会福祉協議会 高橋 史成 氏

柏市社会福祉協議会で把握している、市内のこどもの居場所づくり活動団体は37(うち1団体は休止)。主にこども食堂や学習支援など団体によってさまざまな形態で活動しています。コロナ感染症5類移行後には会食が再開したことで、参加者同士が交流できる場が増えているようです。また、柏市社協が運営する「柏市こどもの居場所づくり支援事業」等、居場所づくりにかかわる様々な支援も充実してきています。



どんなところ？ フリースクールゆうび小さな学園

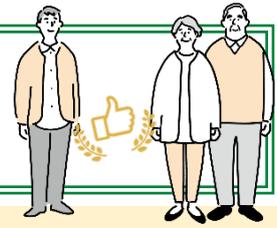
平成元年、柏市豊四季に開園したフリースクール。学校へ行っている子、不登校の子、障がいを持った子、持っていない子、さまざまな個性を持ったこども・若者が通っている。一人ひとりが『自分のよさ』を発見し、それを磨き伸ばし、それを生かして、豊かな人生を創り出すよう支援している。



ゆうび小さな学園の詳細はこちらから↑

インターンシップ

地域づくりインターンシップ



今年度、サポートコーナーの新しい取り組みとして、「地域づくりインターンシップ」を8月より行っています。これは高校生～大学生を対象に、柏の市民活動・まちづくり活動に中長期（2週間～最大4カ月程度）参加するプログラムです。単発のボランティア体験とは異なり、中長期での活動を通じて市民活動団体が抱える柏の地域課題を知り（インプット）・それを咀嚼したり、人とのかかわりの中で考えを深め（スループット）・自分なりの解決のためのアクションに取り組む（アウトプット）という3段階の流れがあることが特徴です。

ライトに多様な団体を知ることができる「ボランティア体験」も大切な機会である一方、「インターンシップ」として学生が地域に深くかかわるための受け入れを通して地域（団体）にとっても新たな気づきが生まれるはず。次世代の地域の担い手づくりを見据えて今年度は5団体のご協力のもと、12月末まで受け入れプログラムが進行しています。



3月にはサポートコーナーの「協働まちづくりサロン」の中で活動報告会を予定しています。学生がどのように地域の課題に挑戦したのか、ぜひご関心を寄せていただければ嬉しいです。

プチカル柏の葉「10周年のつどい」(11/23)

受け入れ団体の1つ「プチカル柏の葉」では、団体の10周年記念イベントの準備～企画作りをインターンシップのプログラムとして設定しました。当日は野菜&弁当販売バザー、読み聞かせ、健康麻雀大会など多様な催しが行われましたが、その中の一つ「高校生と地域について語る柏会議」はインターン参加学生が企画したものです。「柏の葉の今後」「食と柏」「高校生と選挙」等、自ら考えた柏に関する21のテーマから、参加者と対話を深める会を実施しました。



「柏の葉には、公園や県民プラザなど、足を運ぶことで知り合いがだんだん増える“場”があるのが良い」「友達が柏に来たら案内したい！と思える場所や店は大事な資源。地域でそういった資源を育てることはできないだろうか？」など、柏の活性化に関する対話が広がりました。企画した学生からは最後に「今回、自分の趣味の話や体験会も考えましたが、



市民や参加者がまちづくりに参加するきっかけを作りたいとこれを企画しました。これからも、「これを知ったことで生活が豊かになったよ」と誰かに言ってもらえるようなことをやっていきたい」と、今後の活躍も期待できる言葉で締めくくられました。

活動レポート

参加者インタビュー

Q. インターンに参加したきっかけ

A. ボランティア体験ではなく、主体的に何かチャレンジしてみたいと思っていて、それが実現できそうだと感じたからです。

Q. イベントまで何回活動した？

A. 3回集まりました。学校帰りに直行した日もあり、ちょっと大変なときもありました…(笑)

Q. 活動しての感想は？

A. 地域の色々なことがここに集まっているのが面白かった。企画だけでなく手伝いや運営、参加者側など、関わり方も多様だったことが良かったです。



受け入れ団体のコメント

礼儀正しく、シニアにも丁寧に接していて年齢的なギャップは正直感じませんでした。若い人がこの場にいると空気が違いますが、一緒に活動してくれるとさらに違う。私たちの活動を若者が受け止めて、今後の自身の活動につなげてくれると良い循環になるのではないかと感じました。

たまご補助金

柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）団体の活動紹介（フレイルサポーター フレイル予防広報委員会、糸かけ数楽アートよつ葉）

柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）を活用して、今年度も、設立間もない7つの市民公益活動団体が活動しています。ニュースレターでは、順次、たまご補助金団体の活動状況をお伝えしています。新しい仲間たちの活動に注目してください。

■団体名

フレイルサポーター
フレイル予防広報委員会



■団体紹介

柏市の養成講座を修了したメンバーで構成された団体です。フレイル（虚弱）予防の具体的な対策の認知度の低さ、高齢化による要支援・要介護者の増加を危惧し、柏市内各所で定期的にミニフレイルチェック会を開催しています。また多くの市民が集まるイベント（市民活動フェスタなど）に積極的に参加し、体験会を通じて予防の大切さを伝えています。（補助金は握力計やパイプ椅子の購入などに活用）

■活動訪問記（サポーター 鬼山）

11/23 柏市民活動フリーマーケットぽかぽか市では、柏駅前通りハウディモールでミニフレイルチェック体験会を行いました。会のみなさんは行き交う人たちへ「フレイルチェックを体験しませんか？」と元気よく声を掛けます。項目は握力・片足立ち上がり測定と手軽さ（ミニ）が魅力です。体験後はその場で日常生活での筋力UPの方法など適切なアドバイスが受けられます。これからも高齢者のみならず多世代に“フレイル予防の大切さ”を広めていってほしいです。



11/23 ぽかぽか市
@ハウディモール



■団体名

糸かけ数楽アートよつ葉



■団体紹介

糸かけ数楽アートを通じ、知育、認知症予防、世代交流、地域の活性化を目的に活動している団体です。

今年度のたまご補助金事業では、主に小学生を対象とし、作品作りを通して自己肯定感を高めるとともに他者への思いやりを育むことを目指しています。

■活動訪問記（サポーター 三好）

10月15日（日）に行われたワークショップを見学させていただきました。

糸かけ数楽アートとは、板に釘を打ち、釘の間に糸をかけ線を重ねていく、算数を使った数を楽しむアートだそう。



参加していた小学生も釘打ちの作業から行い、糸の色を選んだり、糸をかけていったりする作業を進めるうちにどんどん集中していきのがわかりました。

完成するとみなさん達成感あふれるいい笑顔。できた作品を見せ合う場面では、同じ形でもそれぞれに異なった作品に感心していました。初めて会った方たち同士でも、互いの違いを認め合い、心を通わせているように感じました。

たくさんの小学生が参加できる事業を行うためのアプローチは難しい面もあるようですが、今後も団体の考える地域課題解決に向けて励まれることを願っています。



柏・愛らぶ基金団体の活動紹介

柏市民公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金）は、市民の皆様からの寄付金を活用して市民公益活動を支援する制度であり、現在、保健福祉や環境など様々な分野で活動している 27 団体が基金団体として登録しています。ニュースレターでは、順次 愛らぶ基金団体を紹介しますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



(基金の詳細)

NPO 法人ネットワークハーモニー

国際教育支援活動として、柏市内学校と協力し、タイ国北部および東北部の学校に楽器や学用品、ドミトリー（寮）の建設等の教育支援を行うことを通して、子どもたちの健全育成・国際理解を育む活動をしています（1998 年設立）。基金はタイ王国山岳民族の子ども達のためのドミトリーの建設支援や、国内活動として行う市内幼稚園・小中学校等の子どもたちから高齢者への「クリスマスカードの贈呈活動」等に活用されています。



(団体の詳細)

認定 NPO 法人東葛市民後見人の会・柏支部

地域社会の福祉に貢献するという理念のもとに、認知症高齢者や障害者などが、その人らしく・住みなれた地域で安心して暮らせるよう、身上監護・財産管理などの法人市民後見活動を目指し活動しています（2011 年設立）。主に成年後見制度の普及・啓発を図る講演会や、市民後見人養成、法人後見受任業務を行い地域で安心して暮らしていくための支援活動を実施しています。基金は



市民後見人養成講座の開催等に活用されています。



(団体の詳細)

令和 5 年度 たまご補助金中間報告会開催（10/17）

令和 5 年度に柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）を活用して活動している下表の 7 団体の中間報告会が、10 月 17 日に柏市役所で行われました。（うち 1 団体はビデオによる報告）

各団体とも設立間もない「たまご」団体なので、上手く行ったことも行かなかったこともあったようですが、一生懸命“歩み”を始めています。これからの活動を優しく見守って下さい。



- ① フレイルサポーター フレイル 予防広報委員会
- ② 糸かけ数楽アートよつ葉
- ③ KASHIWA NOTE
- ④ Chloris Music
- ⑤ きれいな地球に住み隊
- ⑥ 虹色未来大学
- ⑦ チャーリング柏



市民活動講座・協働まちづくりサロンのご案内（1月～3月）

■市民活動講座

2月24日（土）13:30～16:00 「これからの柏の葉のまちづくりと市民活動」

■協働まちづくりサロン

1月17日（水）13:30～16:00 「地域内での災害支援を考える」

3月20日（水祝） 「地域づくりインターンシップ報告会」

まち *match* づくりステーションのご案内（1月～3月）

1月4日（木）～17日（水） 防災団体

1月18日（木）～31日（水） 健康福祉フェスティバル参加団体

3月16日（土）～31日（日） 柏市俳句連盟

※2月1日（木）～3月15日（金）は利用団体を募集しています。

カシワワニバス（市役所線）の運行が開始されました！

柏駅～ラコルタ柏～市役所～文化会館～ウェルネス柏を結ぶコミュニティバス・ワニバス（市役所線）の運行が11月20日に開始され、柏駅と公共施設間の移動が便利になりました。



～編集後記～

柏の誇り・レイソルはJ1残留争いに巻き込まれる不本意なシーズンでしたが、最後の天皇杯決勝で大健闘し、優勝こそ逃したものの、来年に向けて期待を持たせてくれました。

市民活動団体の皆さんも、今年はやっとコロナ禍から解放され、徐々に活動を再開してきたと思いますが、来年こそは、レイソル同様、伸び伸びと本来の活動ができるようになることを期待したいものです。

本年もサポートコーナーの活動にご理解を頂き、ありがとうございました。来年もよろしくお願い申し上げます。（編集 及川愛二）



柏市民活動ニュースレター 第30号 2023年12月発行

発行者 柏市市民活動支援課 市民活動サポートコーナー

電話 04-7163-1143 FAX 04-7163-1147

メール shiminkatsudo-c@city.kashiwa.chiba.jp

